

ミャンマー地方農村部女性の生計向上に貢献

無給水・無電化地域にソーラー井戸ポンプシステムを導入

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてケーピーエス工業株式会社(京都府精華町、加藤 晃 代表取締役社長)が提案する「無給水・無電化地域へのソーラー井戸ポンプシステム導入のための案件化調査」(ミャンマー)を採択しました。

ミャンマー政府は、地方開発や貧困削減を国家の重要課題として位置づけ、水道インフラの整備に取り組んでいますが、給水率は8.2%とメコン諸国の中で極めて低い水準に留まっています。無給水・無電化地域の多い地方農村部では女性や子供による水汲み労働の負担が大きく、仕事や勉強等の生計・生産活動に制約が生じています。

同社の太陽光発電・蓄電池・電気井戸ポンプを統合させて新開発したソーラー井戸ポンプシステムの導入活用を通じ、無給水・無電化地域において安定的な水供給を実現することによって、貧困削減・生計向上・女性の社会進出といった面での正の効果・インパクトがミャンマーの地方農村部において発現することが期待されています。



水汲み作業を行う住民



ソーラー井戸ポンプシステム外観

同社は農業畜産灌漑省地方開発局をカウンターパートとして、無給水・無電化地域における水の安定供給実現のためのODA案件化を通じて、主に地方農村部女性の生計向上を目指します。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉後、契約に至ったものから順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で33件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2017年度第2回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当: 中山

TEL: 078-261-0397

e-mail: Nakayama.Shigehiko@jica.go.jp



『私たち JICA 関西は、途上国と関西を信頼でつなぎ、ともに「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献します。』